

# 児童・家庭福祉部会(第4部会)活動報告

## I 3年間の研修内容

期 日	場所等	内 容
H29.2.17	すこやかセンター	役員選出、活動方針について
4.18	すこやかセンター	・日常生活における子ども(幼児～小学)の現状と課題 こども家庭相談課 課長 寺田 仁美 氏 ・守山市の児童福祉の現状(貧困・不登校等) 守山市教育委員会 教育部 次長 脇阪 久徳 氏
5.26	すこやかセンター	地域訪問(新生児訪問)の現状と切れ目ない支援と成果について すこやか生活課 係長 辻 美幸 氏
7.27	大津市	・小鳩乳児院、小鳩の家見学研修 ・子育て総合支援センターゆめっこ見学研修
9.19	すこやかセンター	・社会的養護における里親制度について 滋賀県健康医療福祉部子ども青少年局 山下 大樹 氏 ・守山市地域里親会について 守山市地域里親会 高田 三代子 氏 ・企画委員会
10.21	長浜市	第60回滋賀県里親大会
11.17	彦根市	さざなみ学園見学研修
H30.1.18	守山市	守山市立中洲こども園見学研修
2.19	すこやかセンター	ワークショップ 赤ちゃん訪問活動から見える課題
3.19	すこやかセンター	・1年間のまとめと次年度活動について ・企画委員会
4.18	すこやかセンター	守山市の児童福祉の現状(虐待等) 子ども家庭相談課 課長 小寺 克茂 氏
5.22	すこやかセンター	特別支援学級の現状と課題と支援 守山市教育委員会 学校教育課 指導主事 内田 勉 氏
7.19	野洲	野洲養護学校見学研修
7.27	すこやかセンター	企画委員会
9.29	日野町	第61回滋賀県里親大会
10.19	すこやかセンター	・地域福祉権利擁護事業について 守山市社会福祉協議会 地域支援課 柳 大地 氏 ・企画委員会
11.19	甲賀市	・信楽学園見学研修 ・鹿深の家見学研修
H31.1.18	守山市	もりの風こども園見学研修
2.18	市民ホール	・支援の必要な子どもたちの理解について 元滋賀大付属養護学校副校長 小西 喜朗 氏 ・企画委員会

3.18	すこやかセンター	・1年間のまとめ ・企画委員会
5.30	すこやかセンター	主任児童委員の活動について 守山市主任児童委員会 代表 大崎 滋子 氏
7.18	すこやかセンター	現代の子育ての課題から見えること 保育幼稚園課 川島 栄子 氏
9.20	守山市 大津市(予定)	・守山学園見学研修 ・湘南学園見学研修
11.18	すこやかセンター	3年間のまとめ

## II 第4部会 3年間の振り返り

今、子育ての中で、児童への虐待死という非常に痛ましい事件が起きている。また、「児童の7人に一人が貧困」、いじめ・不登校の増加、深刻な引きこもりなど、子どもたちを取り巻く状況が悪化している。共働き家族が増えているにもかかわらず、保育園の数が足りないなど、子育てをする側の環境も十分でない。

児童家庭福祉部会では、上記の諸問題について学習を深め、日頃の活動に役立てるよう考えた。そのために守山市の関係諸機関から講師を招き、研修を深めた。

またバスでの施設訪問や現地研修を取り入れ、実際に現地で研修出来たことはとても意義深いことであった。

## III 活動の成果と課題

### (1) 講師による研修について

・1年目は、初めて民生委員になった人も多いため、学校での子どもの状況、赤ちゃん訪問の意義、里親制度についてなど基本的な事について学習した。2年目は児童福祉の現状、特別支援学級、発達障害とは何か、など専門的な講義を受け学習を進めた。3年目は原点に立ち返り、主任児童委員さんの活動、今、子育てをしている親御さんの育児に関わる悩み、問題点の講義を受けた。

たくさん知らないことの学習が出来たという評価の反面、年間を通した学習内容の一貫性を持つべき、という反省点が出された。

・里親大会については大会の前に、里親制度についての研修、また実際に里親をされている方から、子どもを受け入れる喜び、苦労の話を聞くことができてよかった。

#### ・里親大会への参加

例年、第四部会では里親大会に参加していた。県下の状況や全国の動向が聞くことができたり、里親制度の拡大を政府が希望していることが分かった。しかし、全県下から1カ所に集まり、大会を開くには、時間的な問題や会場の確保の困難もあり、2019年度から開催地近辺の参加に限り大会が開かれることになった。また大会での講演などが各市町村の民児協に送られるものと期待し、あらためて研修を深めたい。

### (2) 施設見学・研修について

・「初めて養護施設を訪問し、施設の取り組みや子どもたちの様子が聞けてよかった」「滋賀に乳児院があるのを知って、訪問・研修ができた」など、新任民生委員の人たちには初めての施設訪問が貴重な経験になったと思う。

・養護施設を卒業後、進路や就職の定着など深刻な課題が有ることを学んだ。また施設職員の方々が、卒業後の子どもたちの悩み事、相談事に耳を傾け、アドバイスをされていることには頭の下がる思いがした。

・養護学校の訪問では子どもたちの数が年々増大し、学校規模がとてつもなく大きくなっているのを見て驚いた。職員も不足しており、行政の早急な対応を期待するものである。

### (3) 民生児童委員の仕事内容見直しについて

・年々民生児童委員の仕事が増え、後継者探しに苦勞する自治体の声がたくさん聞こえてくる。政府の「働き方改革」の提言もあり、第4部会では奇数月のみ研修をし、偶数月は取りやめることとした。今後はもっと思い切った改革が必要で有り、誰もがボランティアで気軽に活動できる民生児童委員になる必要がある。4つの部会をどうしていくのかを含め、今後民生児童委員の仕事の精選について大いに論議をしてもらいたいと思う。

